



# 人同協だより

2016（平成28）年3月30日 発行 常磐地区人権・同和教育推進協議会

## 1. 平成27年度の人同協・事業活動を振り返って



辻山 忍 会長

今年度初めて開催した「啓発委員研修（6月18日）」は、啓発委員のみなさんがより一層人権意識を高めるという目的で取り組みました。

今後もさらに新しい事業を人同協で展開し、常磐地区は人権意識が最も高い地区と言われるように取り組んでいきたいと思ひます。

今年度もみなさんのご協力をいただき、ありがとうございました。来年度も引き続き人同協の活動にご協力よろしくお願ひいたします。

### ＝写真で見る年間事業活動の記録＝

啓発委員研修（6月18日）



地区懇談会（7月～11月）



視察研修（9月5日）



人権カレンダー



総会（5月21日）

教育講座（2月18日）



人権講演会（12月22日）



常磐まつり出展（11月1日）



## 2. 常磐地区市民センターで「教育講座」を開催しました。

教育講座は、2月18日(木)常磐地区人同協主催により開催しました。今回(平成27年度)は「常磐中央幼稚園の人権・同和教育の取り組み～心をつなげよう みんなのわ～」のテーマで常磐中央幼稚園の各先生方から人権教育の取り組みが報告されました。

### 報告の概要について

冒頭、人権教育推進教諭の中西 美弥子先生から幼稚園の教育目標などについてお話がありました。



(聞き入るおよそ60名の聴講者)

「教育目標」遊びや生活を通して生きる力、共に生きる力の基礎を育てる。

「人権教育目標」自分の思いを素直に出し、友だちの思いに気づき、共感できる子どもの育成  
「めざす園の姿」楽しい、あたたかい人間関係を育てる、地域から信頼される幼稚園

さらに、「幼稚園での教育」は学校の様に教科書に添って授業することではなく、先生や友達みんなと遊ぶ中で学習することで、「遊び=学び」などと話されました。

その後、中西先生と各担任の先生から「人権・同和教育の取り組み」6項目の報告がありました。  
〔下記 印の項は、各担任の先生から成果や課題が述べられた要点をまとめたものです。〕

### 1) 健康・安全・食生活など生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける

- ・挨拶の推進・はやね、はやおき、朝ごはん、朝うんち  
課題(4歳児担任 堤本 奈智先生) アンケート調査で生活習慣の成長が、保護者の「そう思う」割合は低率、園では実感しているものの保護者はそう感じていない。

### 2) 自然に親しみを持ち、生命の大切さを感じる

- ・園で野菜を育てる中で成長と収穫の喜びを感じる。
- ・小動物を飼育し愛着と命を大切する気持ちを育てる。  
課題(5歳児担任 深作 奈帆子先生) 園庭では草花が少なく、虫採取など自然体験が足りない。園外や地域での観察活動を増やして行くのが今後の課題。

### 3) 自己を十分に出し、相手の思いにも気づく

- ・友だちと一緒に活動する楽しさ・伝えあい共感し合う  
成果(4歳児担任 曾根 茉莉絵先生) 友だちの思いに気づけるように、子どもの気持ちに寄り添い声をかけてきた。相手の思いに気づこうとする姿が増えてきた。

### 4) 自分が大事にされていると感じ、安心して過ごす

- ・先生との信頼関係、スキンシップを行う。
- ・小学生との交流とか地域の様々な人とのふれあい  
成果(5歳児担任 長江 未来香先生)

色々な人とのふれあう機会を多く持ち、人との接し方を学んだ。中学生との交流で「あこがれ」を感じ取った。

### 5) 保護者とともに子どもの育ちを考えていく

- ・保護者との会話を大切に、共に子育てを考える。
- ・園と家庭の関わり強化(人権だより「つながり」発行)
- ・人権・同和教育を語る会を開催

### 6) 教師自らの人権感覚を磨く

- ・幼児のとらえ方や見方が偏ってないか
- ・幼児への関わりや援助が適切であるか
- ・人権に関する研修会へ積極的に参加し園内で報告し合う。



中西先生



堤本先生



深作先生



曾根先生



長江先生



水谷小百合 園長先生  
のご挨拶から

・幼稚園の全てが人権教育につながっているとの思いで取り組んでいる。  
・遊びの中での学びが小学校での生活や、学習につながっていく。  
・実体験を大切にし、自分も相手も大切にしようとする気持ちを育てている。

中西先生は講座の最後に「これからも心をつなげる保育に励んで行きたい」と結ばれました。

### 3. 人権の拠点シリーズ～地域で育てる地域の子どもたち～ 「常磐地区子ども人権文化育成協議会（人文協）」をご紹介します。

人文協は、地域・学校・家庭が連携し、子ども一人ひとりが大切にされる地域社会を目指すとともに、自然体験や社会体験、交流などの豊かな経験を通して、子ども自らが基本的人権を尊重する精神を育成することを目的とし、赤堀児童集会所を拠点に活動しています。

赤堀児童集会所は、人権プラザ赤堀の南側、別棟の建物で問い合わせは、人権プラザ赤堀（TEL059-351-7609）へお願いします。

なお、常磐地区人文協の会長は鈴木茂見さん、事務局は人権プラザ赤堀となっています。

#### 1) すくらむ <小中学生対象、年2回募集案内により申し込み受付>

自然体験・社会体験・文化活動などを通して子ども同士の交流を深め、子どもたちが、つながり、支えあうことができる仲間づくりをするため、活動内容ごとにクラブを作って定期的に活動しています。

今年度、すくらむの各クラブで活動した子どもは、約70名です。

すくらむの各クラブ・・・

「パソコンクラブ入門・初級」

「ジュニア太鼓クラブ入門・初級」

「人形劇クラブ」

「ものづくりクラブ」

「ドリームクラブ小・中学生」

（子どもの学びを支援する場としての自主学習、職業体験、社会見学など）

すくらむの活動成果発表（年2回）

すくらむフェスティバル（7月・3月）



パソコンクラブ

人形劇クラブ

ジュニア太鼓クラブ

ものづくりクラブ

ドリームクラブ(自主学習)

ドリームクラブ(職業体験)

#### 2) キッズ・スクール <原則、乳幼児から小学生対象、募集案内により申し込み受付>

地域の子どもの交流促進や相互理解を図るため、スポーツ活動・レクリエーション・教養、文化活動などを地域住民や地域の学校、園と連携しながら月1回程度実施しています。

今年度は「ピンポン大会」、「木の実を使った工作」、「あられ炒り体験と昔のあそび」などを行いました。



絵本読みあそびライブ

#### 3) 子どもの居場所づくり支援 <未就学児は保護者同伴で自由に来館できます>

子どもたちの出会いとふれあいの場として、自由に遊んだり、読書や勉強ができるように、児童集会所を日祝日以外の午後には開館しています。また、人文協の開館支援スタッフが開館時の見守りを行っています。



楽しく学べるキッズルーム

## 4. 2016年度常磐人権カレンダーが出来上がりました。

2016年度(4月～翌年3月まで)常磐人権カレンダー(A1縦カラー印刷)が出来上がりました。

カレンダーには、2015年度人権啓発標語入賞作品が掲載されております。

今年度も常磐地区全戸配布でお届けいたします。なお、お届けするカレンダーは大きさと内容が月めくりでなく、1年度分が1枚の用紙に印刷されています。

昨年度までとは変わります。ご了承下さい。



### 人権のオアシスひろば (読者の寄稿から) ~ 保護司と人権 ~

私が保護司になって約16年になります。また、常磐地区人権・同和教育推進協議会に参加することになり3年になりました。私が保護司になった時点ではその仕事内容の知名度が低く、周りの人からは「何の仕事する人」とよく言われました。

保護司の仕事の内容を紹介したいと思います。社会のルールを何かしらの理由で違反した少年や一般成人、又、交通事件も同様で、その対象の少年や一般成人の人を、違反した前の生活まで更生してもらい社会復帰するまで寄り添い見守り、手助けをして更生を願う仕事です。

一度ルール違反をしてしまうと、社会または身近な地域での行動が限定されてしまう事があり、本人の更生意欲がなくなり、市・または県・遠くは国が暖かく見守り育てることも人権を守る一つではないか無いかと思います。

微力な一人の保護司が行動を起してもなかなか難しく、地域皆様の協力が不可欠です。

犯罪のない明るい常磐のまち・明るい社会に皆様のご支援をお願いいたします。

保護司活動の一例を示します。

A少女が少年院から仮退院して私の元で保護観察を始めました。A少女はシンナーから始まり、覚せい剤で逮捕され、社会ルールに違反した少女でした。更生させるためにいろいろな会社に就職活動したが、どこも面接ですべて断られる毎日で、薬物で歯が抜け落ちてしまい外見からの判断でした。私の元で働いてもらい取り敢えず外見を治しました。その後、本人の希望もあり、介護職に就きたいとのことで、友人、知人を頼りにやっとの思いで就職できるようになりました。

その後、3年が過ぎて介護資格が取れたとの報告をもらい、結婚も決まり、大阪在住で子育て真っ最中との事。現在では子育て中にケアマネージャーの資格に挑戦しており、地域に溶け込もうと頑張っている報告をもらいました。(保護司・牧野 鉦)

**編集後記** 「人同協だより」4号(本年度最終号)をお届けします。会員皆様のご協力により予定どおり発行することができました。深く感謝を申し上げます。

2ページの「教育講座」常磐中央幼稚園の報告は全部DVDに収録しました。「幼稚園の全てが人権教育につながっている」という熱のこもった先生方の取り組みを是非一度視聴下さい。

DVDは貸出しできますので、常磐まちづくり事務局に問い合わせ願います。

今年度発行した「人同協だより」は、常磐地区ホームページ <http://www.tokimati.com> から「トップページ 定期刊行物 人同協だより」の順で閲覧できます。(書記・川村 浩)

お問い合わせ先：常磐まちづくり会議・事務局 Tel 352-1852